

中部日本ニュース

シネスコ版

道新 10147
甲口 106外
高野 10234
新報 1060

カマ解禁-釧路-105外 (本編-初秋-27L音之)
豊作を祝う-其代-105外 (本編-初秋-27L音之)
本編同レ

No. 399 36.9. 8

初秋
豊作を祝う

— 広島

二百十日も無事にすんで今年の稲作は空前の大豊作。
広島県戸河内では村中総出で名物「芸北かぐら」の稽古に励んでいます。
伝統のおかぐらにこめる豊年の喜びが鎮守の森に明るくこだましています。

サンマ解禁

— 釧路

九月三日の三〇トン以上のサンマ船解禁をむかえて、釧路港は九百隻のサンマ船で開港以来の賑わい。
日没とともにキラタツプの海上では威勢のいいサンマ漁がはじまっています。
今年では海流の関係で盛漁期には至らずお値段の方もキロ当り四〇円で去年より十五円高。待望の秋の味覚もまだ少々お高いようです。

北富士山麓の紛争

山梨県忍野郡忍草部落民が北富士演習場の返還を要求して着弾地点に盛りこみをはじめから百余日、九月からのアメリカ軍演習は体をはって阻止しようと演習場内へ食糧や水の荷上げをはじめました。
八月二十九日から三日にわたって開かれた中央交渉も決裂、地元側は山梨県労連や社会党などの外廓団体に出勤を要請して背水の陣をかためました。
問題の焦点となっている北富士は忍野部落民が入会地として数百年來使用しており、家畜の飼料、肥料、建築材など一切をここに依存しており部落にとっては生活の源となつて来ましたが、それだけに戦後米軍に接収されてからは死活問題になり、今日の紛争を招いたのです。
身体をはって抵抗する農民たち。ここには貧しい農村の実情をみる事ができるようです。

カメラ風土記

湖畔の村

— 静岡

東海道の弁天島から浜名湖を船で三十分、ここ静岡県浜名郡村楠は、昔からハタヤの村として知られてきました。
ここには全国でも珍らしい炊事組合があつて、全従業員の仕事の調達しています。かつて女工哀史に表されたその生活も共同炊事によって待遇の差別を解消しようというものです。
そうした試みが示すように、村民の進取の気性は、図書館の設立にもみられ、すでに文部大臣の表彰も受けています、そのような地域行政の中核をなすのが消防団、水道や銭湯も経営するかと思えば酒屋まで営むという多角経営です。
人々は日暮れと共に酒屋の灯を慕い、焼酎のブドウ割に人生の哀歓を浸すのです。
年間の売上げは七千万円。儉約の美風と共に文字通り村民による村民のための善政が施されているので

274外

205外

147外